

○新しい市役所の目指すべき姿と実現に向けた検討について

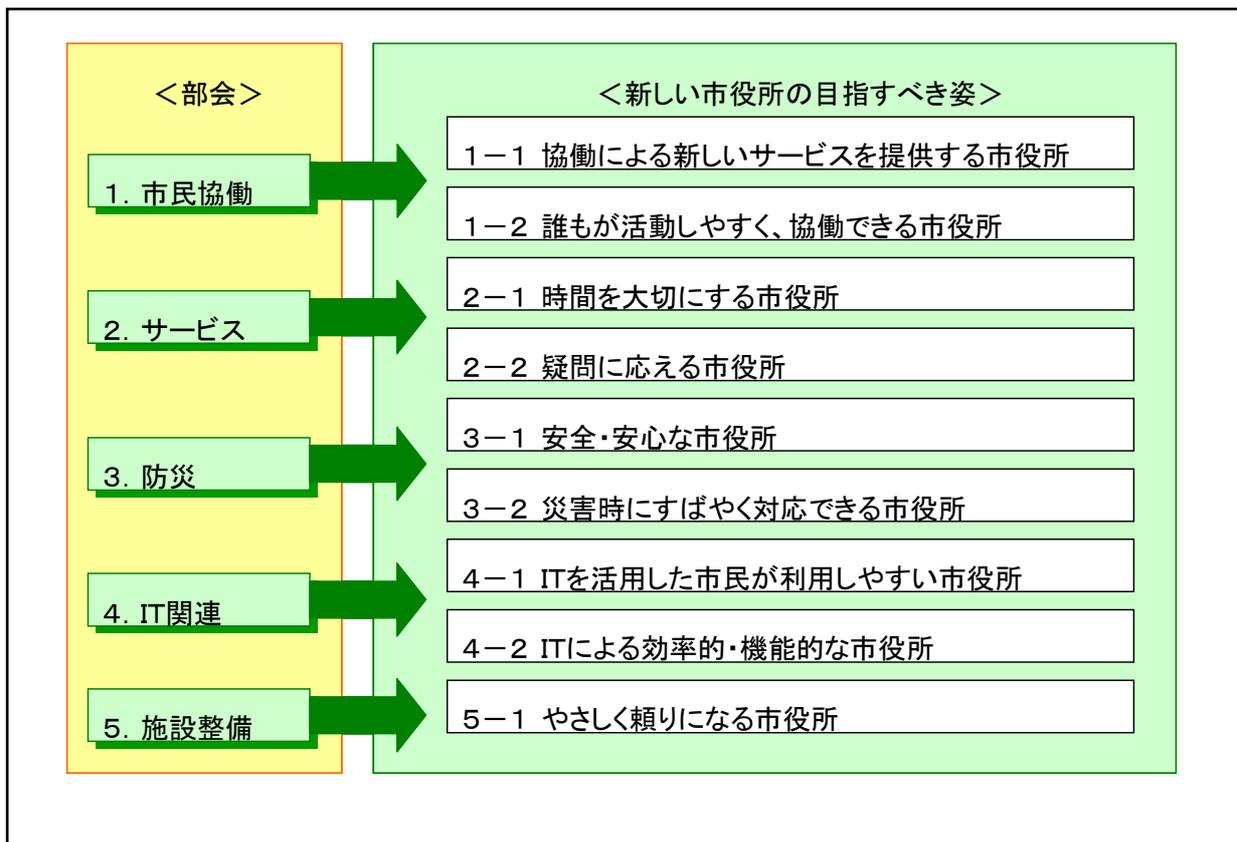
(庁内の検討状況について)

中心市街地への市役所移転をきっかけとして、一層のサービス向上をはかるとともに、市民との協働を推進するため、より開かれた市役所を実現する必要があります。

これらのことを念頭において、現在、庁内に「市民協働」「サービス」「防災」「IT関連」「施設整備」の5つの部会を組織し、ソフト・ハードの両面から、新しい市役所が目指すべき姿や、その実現に向けた検討を開始しています。

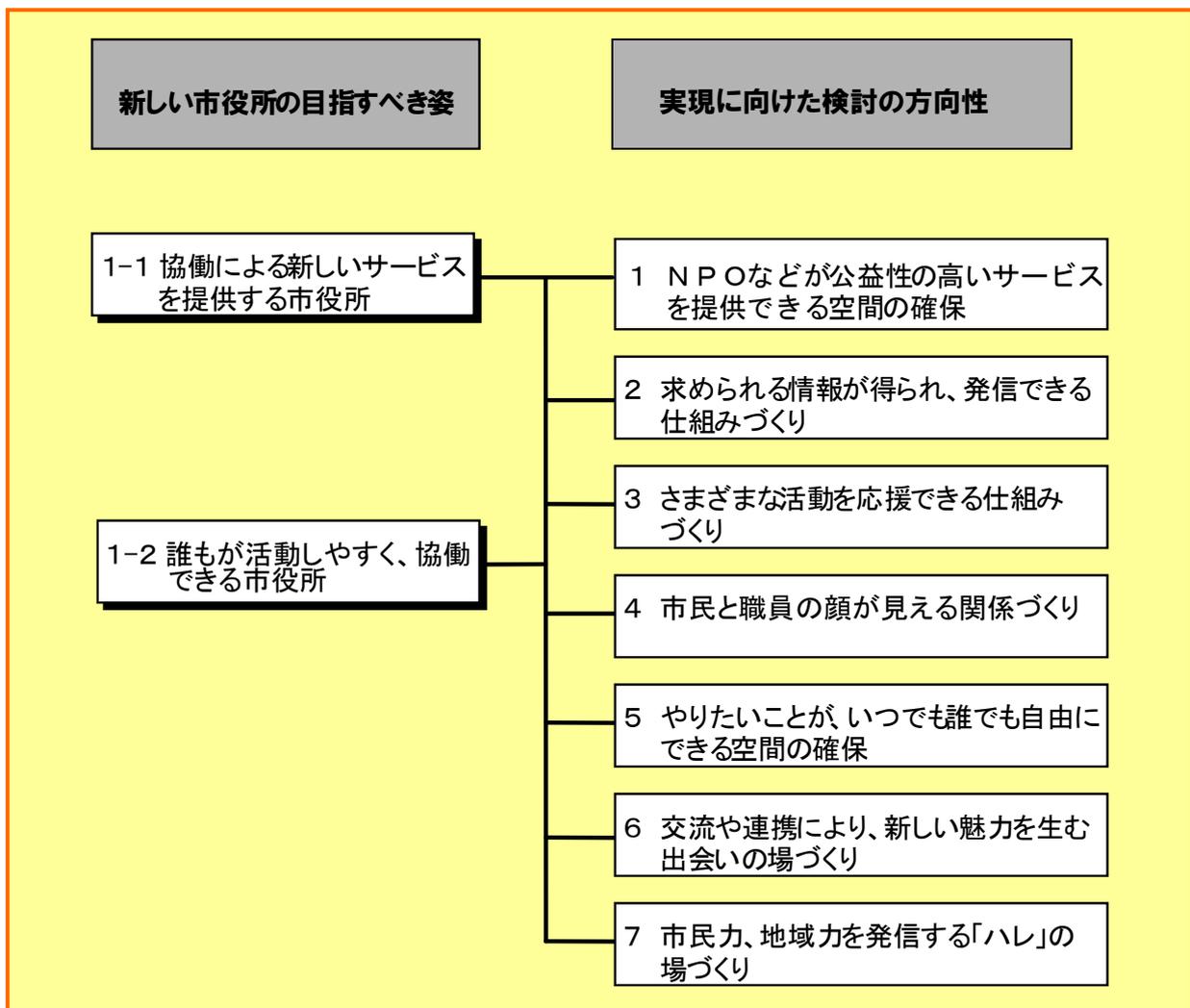
今後、「新しい市役所のあり方」にそって、市民委員会のご意見をお聞きしながら、さらに検討を深めていきます。

<新しい市役所を目指すべき姿>



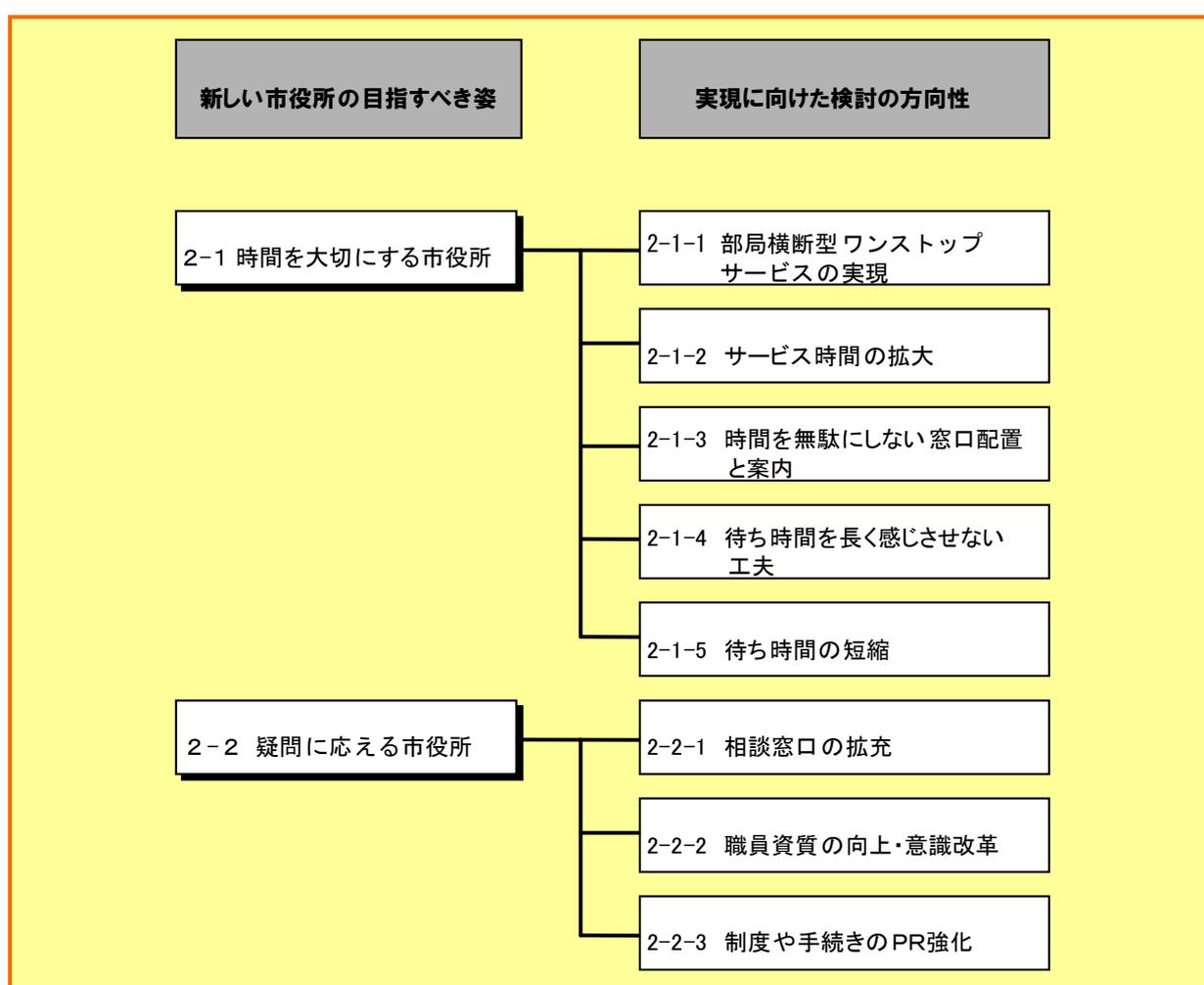
1. 市民協働

市民、市民活動団体、地域のコミュニティ組織など多様な主体による自主的なまちづくり活動に供する場や、市民と行政、さらに市民と市民が相互に連携・協力するための機会の拡充等を通じ、市民と行政がパートナーとして相互に補完し合いながら、よりよい地域社会づくりを協働で推進するため、「協働による新しいサービスを提供する市役所」「誰もが活動しやすく、協働できる市役所」の実現を目指します。



2. サービス

子どもからお年寄りまで幅広い年齢層の人々、日中は仕事や子育てに忙しい人々、さらに障がい者や外国人に至るまで、異なる立場の市民が時間を最大限に活用できるよう、きめ細かな対応を推進するとともに、それぞれの利用目的に応じた市民サービスを的確かつ速やかに提供することにより、市民一人ひとりの満足度を最大化するため、「時間を大切にする市役所」「疑問に答える市役所」の実現を目指します。



* ワンストップサービス

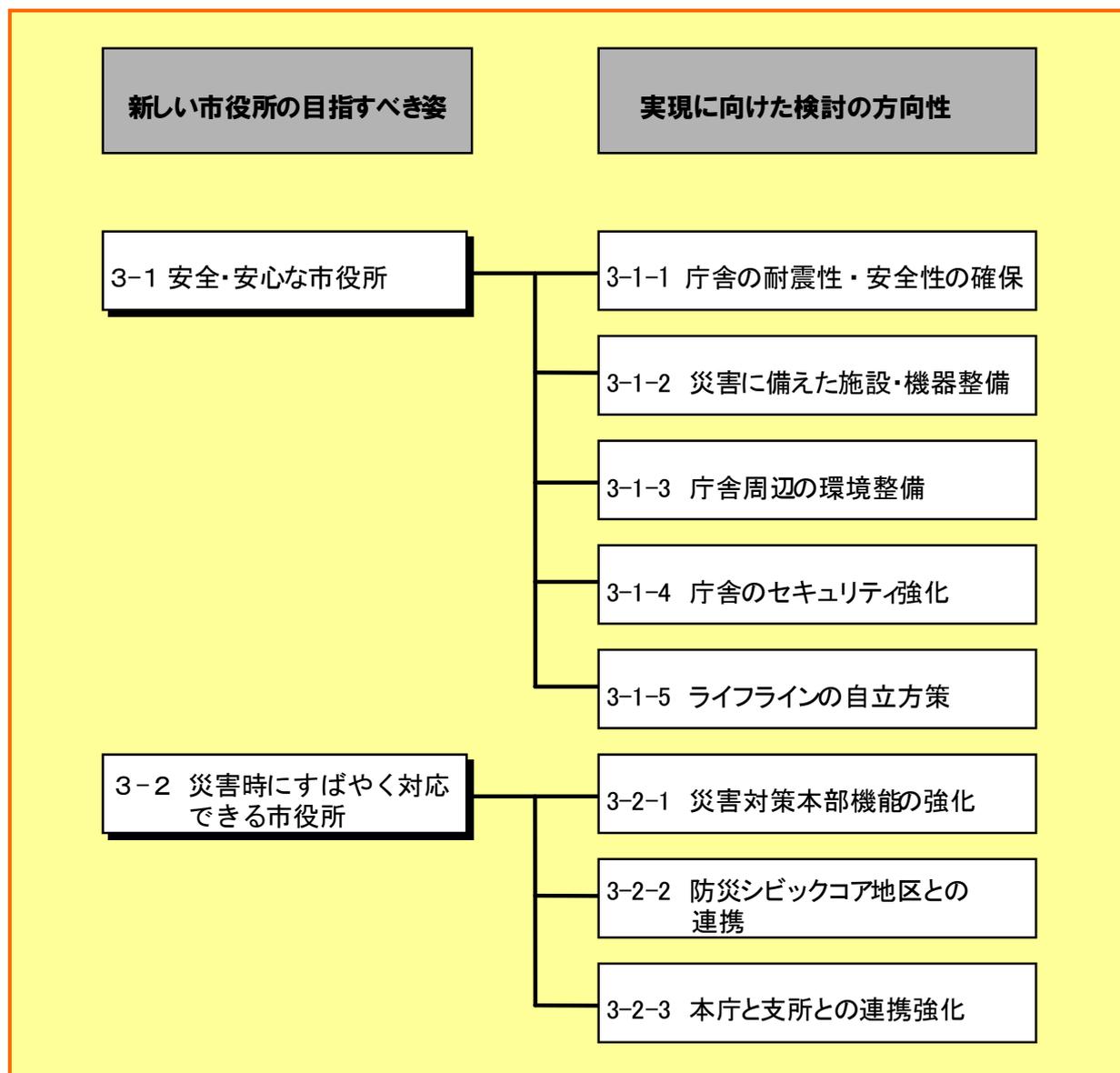
「ワンストップサービス」とは、1箇所又は1回で、申請・届出の受付や証明書の発行等の各種市民サービスを受けることができたり、手続きを終えたりできる仕組みのことをいいます。

例えば、市外からの転入の場合、新住民は転入届のほか、国民健康保険、年金・児童手当など何通もの申請・届出書類を提出する必要がありますが、それぞれの受付窓口が異なるため、初めて訪れた庁舎内をあちこち移動することになります。

一連の申請・届出や証明書の発行が一度の手続きで済めば、このようなイライラをなくし、住民の利便性が大幅に向上するとともに、行政側にとっては窓口業務の効率化を図ることができます。

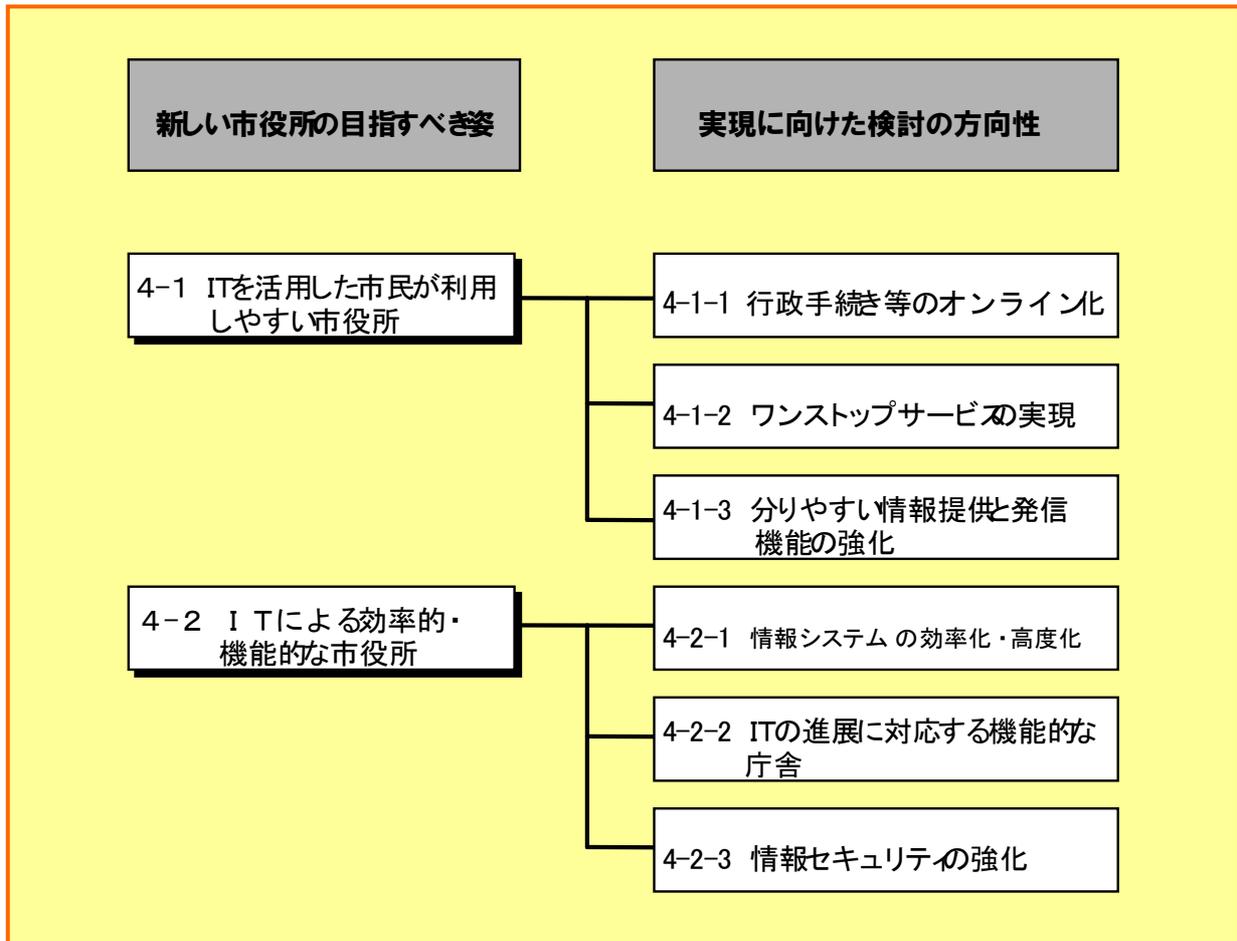
3. 防災

新庁舎の耐震性の確保、災害対策本部として必要な施設・機器の整備、電気・水道・通信等のライフラインに対する被害にも速やかに対処できるバックアップシステムの強化などにより、災害時における救援活動や復興活動の拠点としての役割を十二分に果たすため、「安全・安心な市役所」「災害時にすばやく対応できる市役所」の実現を目指します。



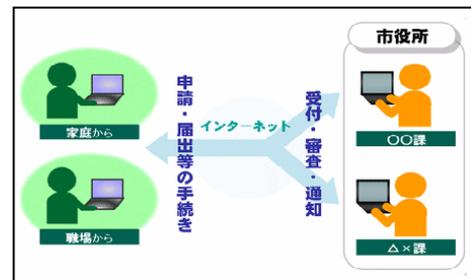
4. I T 関連

高度情報社会の進展に適切に対処するとともに、各種申請・届出等の行政手続きのオンライン化*、市民が知りたい情報を簡単に検索できる情報提供機能や分かりやすい情報発信機能の強化などを通じ、より一層の市民サービスの向上と効率的な行政運営を同時に推進するため、「I Tを活用した市民が利用しやすい市役所」「I Tによる効率的・機能的な市役所」の実現を目指します。



* 行政手続きのオンライン化

これにより、例えば、住民票の写しの交付申請や公共施設の利用予約など、従来は行政の窓口へ必要書類を郵送するか、直接持参して提出しなければならなかった諸手続きについて、従来の窓口に加え、パソコン上で作成した必要書類を電子データのまま自宅や職場からインターネットを利用して申請・届出することが可能となります。



5. 施設整備

子どもから高齢者まで、誰もが“来やすく、わかりやすく、利用しやすい”こと。

災害時には確実に機能し、業務の変化にも柔軟に対応できること。

さらに、地球環境やまち並みにも配慮した、次の世代に誇りを持って引継ぐことのできる市民のシンボル。そして、高い機能を備えながらもコストを最小限におさえる工夫。

人や環境、コスト負担に対するやさしさと、頼もしさ、働きやすさを兼ね備えた「やさしく頼りになる市役所」の実現を目指します。

